

平成 29 年度全国大会 武田委員長挨拶文

ただいまご紹介にあずかりました、全国産業廃棄物連合会 安全衛生委員会 委員長を務めております武田でございます。

さて、産業廃棄物処理業における労働災害死傷者数は、業界にかかわっておられる皆様のご努力によりまして、平成 26 年には一旦減少いたしました。しかしながら、平成 28 年には、全産業の度数率 1.63 に対し 8.00、強度率 0.10 に対し 1.11 と、依然として極めて高い水準となっております。

最近は、どの業種においても近い将来の人手不足が心配されている状況です。危険な業界のままでは優秀な人材を確保することは不可能です。この状況を放置しておくことは絶対に避けなければなりません。

そこで、全国産業廃棄物連合会では、平成 29 年度を初年度とした 3 年間の「産業廃棄物処理業における労働災害防止計画」を作成いたしました。この計画では、産業廃棄物処理業界における労働災害の削減に向けて、数値目標を定めました。

具体的に申しますと、計画期間中の労働災害による死傷者数を、平成 24 年から 26 年の実績平均に比べて、全ての都道府県において 20%以上減少させることを数値目標として設定いたしました。

この目標を実現するために、全国産業廃棄物連合会の正会員である各都道府県の協会では、今年度から労働災害防止計画を策定し、業界一丸となって安全衛生水準を向上するための活動に取り組んでおります。

全国産業廃棄物連合会では、目標の達成に向け、会員、非会員を問わず、全ての産業廃棄物処理業者に対し、安全衛生体制構築の重要性を知って頂くことが重要であると考えています。

具体的にどのようなことを進めればよいかということにつきましては、各都道府県協会が実施している安全衛生活動に、ぜひ、参加して頂きたいと思っております。

これにより、処理業者の安全衛生体制が向上していくと考えております。

今日、お配りしている資料の中に、3 種類の安全衛生にかかわるチラシを入れております。

1 点目ですが、「安全で健康な職場作りのために」のチラシは、産業廃棄物業界が「災害防止計画」に取り組んでいることをお知らせするためのチラシです。その裏に

は、労働安全衛生法で定められた内容を確認するための簡単なチェックリストがありますので、是非、ご確認下さい。

2点目ですが、「見直そう 安全衛生活動」のパンフレットは、連合会のホームページでご確認頂ける安全衛生関係の情報です。

3点目ですが、ブルーの「安全衛生チェックリスト」は、各社が実施しなければならない安全衛生にかかわる事項を整理したものです。各社でのチェックをお願いします。

これらをご参考として頂き、是非、安全衛生水準の向上に向けて取り組んで頂きたいと思えます。

さて、今回、全国産業廃棄物連合会では、連合会が3年間にわたり労働災害防止計画を推進していくに相応しい「労働安全衛生標語（スローガン）」を募集致しました。

募集期間が短かったにもかかわらず、大変多くの応募を頂きました。深く感謝申し上げます。

どの標語も、安全が一番という気持ちがこもっており、大変すばらしいものでした。安全衛生委員の全員が、しっかりと目を通させて頂き、優秀な作品を選びました。この後、表彰式がございますが、選ばれた作品は当連合会が労働災害防止を周知する際に用いるなど、幅広く活用して参りたいと考えています。

労働災害は、本来、あってはならないものです。

冒頭にも申し上げましたが、今後、労働人口の減少が予想されている中で、労働環境が悪い業界のままでは優秀な人材を確保することが不可能です。企業の存続すら危ぶまれる状況になるはずで

す。労働災害のない職場づくりは、人材を確保・育成し、企業活動を活性化する上でも、大きなメリットをもたらします。

今日、お集まり頂いている皆様におかれましては、死亡災害と労働災害の撲滅に向け、徹底的な努力を進めていただきますようお願いいたします。

簡単ではございますが、これをもちまして、挨拶および安全衛生標語の募集の趣旨の説明とさせていただきます。